



令和5年度

2月 三大幼だより

江東区立第三大島幼稚園
令和 6年 1月 31日



つながりの中で育む

園長 安田 徳章

本園の新年は、今年も獅子舞が来て頭を噛んでくれる縁起のよいスタートでした。こどもが噛まれると厄除けの効果が強くなるともいわれ、健やかな成長にご利益があるそうです。何かと心配なことが多い昨今ですが、こどもたちの幸せがますます膨らんでいきそうな、みんなの笑顔がかがやくすてきな機会をいただきました。

さて、1月17日に本園を会場に「江東区連携教育の日」の協議会が実施されました。午前中はわかば保育園、大島第四保育園の公開保育、午後からは本園の公開保育を行い、公私立を問わず、近隣の保育園、小中学校の先生方で就学前教育の実際に触れながら、より充実した連携の在り方を考える機会をいただきました。小中学校の先生方からは、こどもたちの様々な学びを、その姿から読み取っていただき、成長ぶりに感心する言葉をいくつもいただきました。一部ですがご紹介いたします。

- ・教師が、こどもたちが思いをつなげようとするきっかけづくりをし、そこから力を合わせていく経験を積んでいると感じた。
- ・生活の中で、数量や文字などに気付かせる環境づくりを大事にしている。自分も、視覚に訴えて行動できるようにすることや掲示物の工夫をしていきたい。
- ・一人一人が楽しかったことなどを発表する場があり、その日自分がしたことを振り返ることが自己肯定感を育むことにつながっていると感じた。

本区では、かねてから「こうとう学びスタンダード」を活用して、幼児期から中学校卒業までの教育のつながりを意識しながら、こどもたちの主体的な学びや発達段階に即した学びの一層の充実を目指してきました。

今年度は、近隣小学校3校のご協力を得て、年長児の授業体験や給食体験を実施いたします。また、年中児は、飼育当番や誕生会の司会などの引継ぎを始めています。今後も、進級・進学に向けての様々な体験を通して次のステップに進むこどもたちを、近隣の教職員のつながりの中で温かく支え、育んでまいります。



今月の指導のポイント



年中りんご組

こどもたちは、劇遊び・楽器遊びなどの表現遊びを通して、自分なりに表現する楽しさや、学級の友達と一緒にいる楽しさを味わっています。さらに、友達の表現を見たり、様々な人に認められたりすることで、充実感や満足感を味わえるようにします。

寒さが厳しい日もありますが、戸外で体を動かす楽しさを感じたり、ヒヤシンスの蕾やチューリップの芽が出てきたことなどの自然の変化に気付いたりできるようにしていきます。

また、進級に向けて、年長児が今まで行っていた飼育当番などを引き継いでいきます。憧れの気持ちを感じたり、より年長児に親しみの気持ちをもったりしながら、活動に取り組めるようにしていきます。そして、進級への期待感につながるようにします。

年長にし組

友達と誘い合って、投げゴマに繰り返し挑戦する姿があります。なかなか回すことができなくても諦めずに繰り返し挑戦したり、自分だけでなく友達が回せたことを喜んだりする姿も見られます。好きな遊びの中では自分のしたいことに取り組みながら自分の思いを友達に伝えるとともに、友達の思いを聞きながら一緒に遊びを進める楽しさを味わえるようにします。

2月には、第三大島小学校での授業・給食体験、第五大島小学校や浅間堅川小学校での授業見学などがあります。修了式に向けての練習や年中組への飼育当番の引継ぎなどが始まり、こどもたちも就学を意識するようになると思います。遊びや生活の様々な場面で自分の成長を感じ、就学への期待がもてるようにしていきます。